

**QRコード決済の利用率が全年齢層で昨年から10%以上増加し、54%と過去最高を記録
2020年から2021年にかけて消費者の生活行動におけるデジタルサービスが定着化**

- インフキュリオン、「決済動向2021年4月調査」を発表 -

株式会社インフキュリオン（本社：東京都千代田区、代表取締役：丸山 弘毅）は、全国の16歳～69歳男女20,000人を対象に「決済動向2021年4月調査」を実施しました。

QRコード決済の利用率が全年齢層で昨年6月の調査から10%以上増加し、全体で54%と過去最高を記録するなど FeliCa型電子マネーに迫る勢いとなりました。個別のキャッシュレス決済サービスの利用率では「PayPay」が交通系ICカードを抑えて2位となり、QRコード決済の利用はさらに拡大していくとみられます。

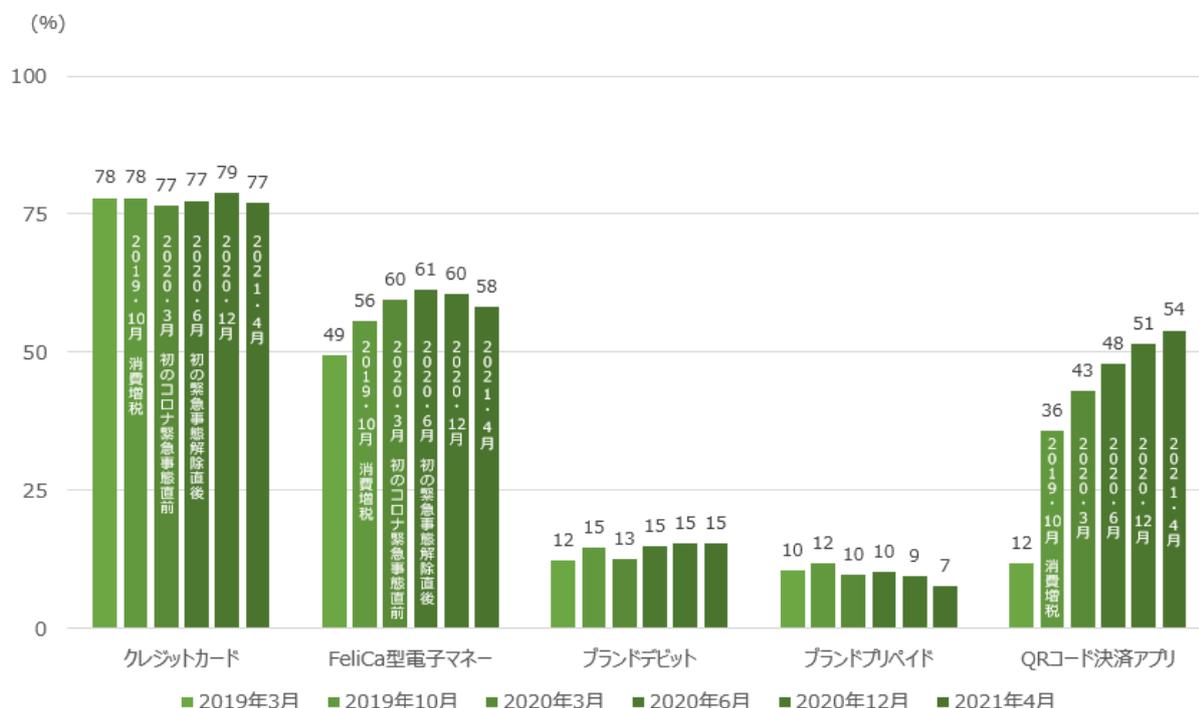
また、2020年から2021年にかけて消費者が金融サービス、音楽・動画視聴、買物といった生活サービスにおいてアプリの利用率が増加し、生活行動においてデジタルサービスが定着していることが明らかとなりました。

<調査結果の詳細>

- QRコード決済の利用は全体で54%と過去最高を記録し、FeliCa型電子マネー（58%）に迫る勢い
- QRコード決済は全年齢層で昨年から10%以上増加し、10代、20代、30代では利用率が2位に
- クレジットカードは年齢が上がるほど利用率も向上、ブランドデビットカードは10代、20代で利用率が20%を突破

<各カテゴリーのうちいずれかのサービスを「利用している」と回答した割合>

（複数回答：2020年12月以外はN=20,000：2020年12月のみN=5,000）

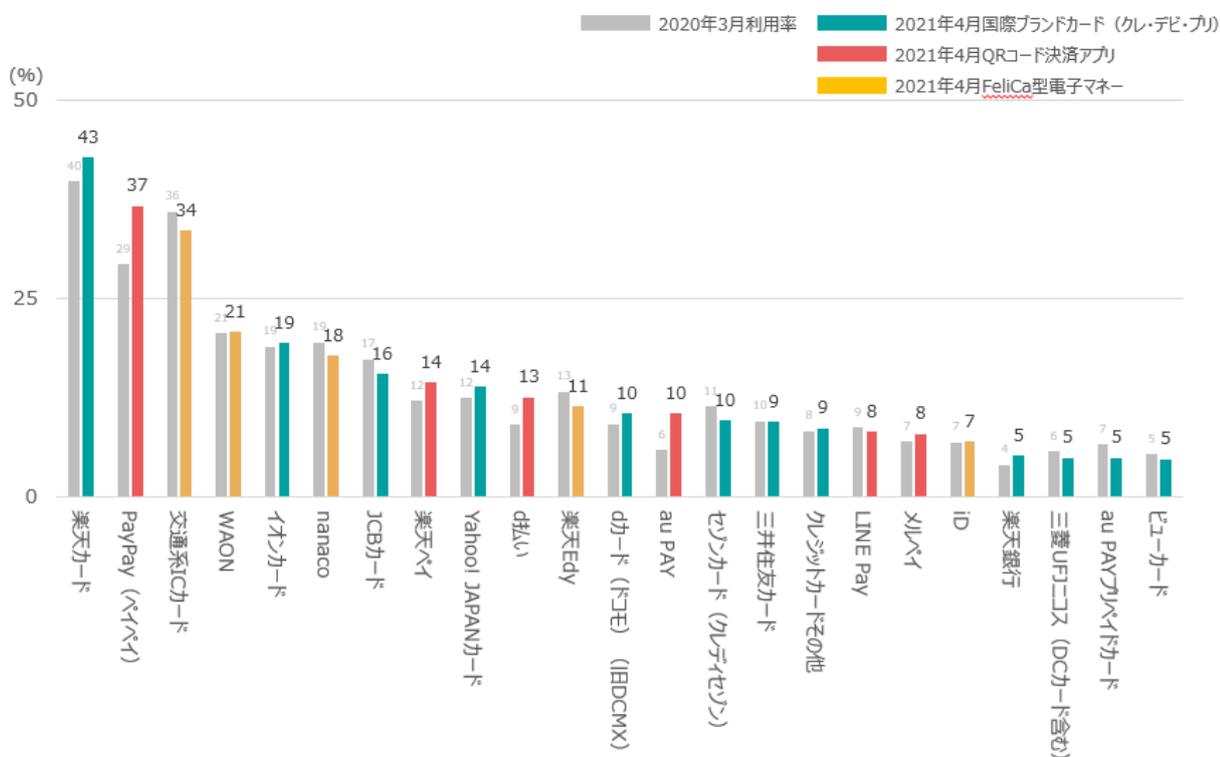


<年齢階層ごとのキャッシュレス決済利用率と対前年増減>

	クレジットカード		FeliCa型電子マネー		ブランドデビット		ブランドプリペイド		QRコード決済アプリ	
	利用率	対前年増減	利用率	対前年増減	利用率	対前年増減	利用率	対前年増減	利用率	対前年増減
全体 (N=20000)	77	0	58	▲ 1	15	3	7	▲ 2	54	11
16～19才 (N=1106)	25	4	52	▲ 2	25	3	10	▲ 3	46	11
20～29才 (N=3059)	70	1	49	▲ 3	22	7	9	▲ 2	53	10
30～39才 (N=4098)	78	2	54	▲ 3	15	3	8	▲ 3	59	11
40～49才 (N=3808)	79	▲ 2	60	▲ 1	14	2	7	▲ 3	59	13
50～59才 (N=3733)	82	▲ 1	64	▲ 2	13	1	7	▲ 2	54	10
60～69才 (N=4196)	88	2	65	1	12	2	7	▲ 1	47	11

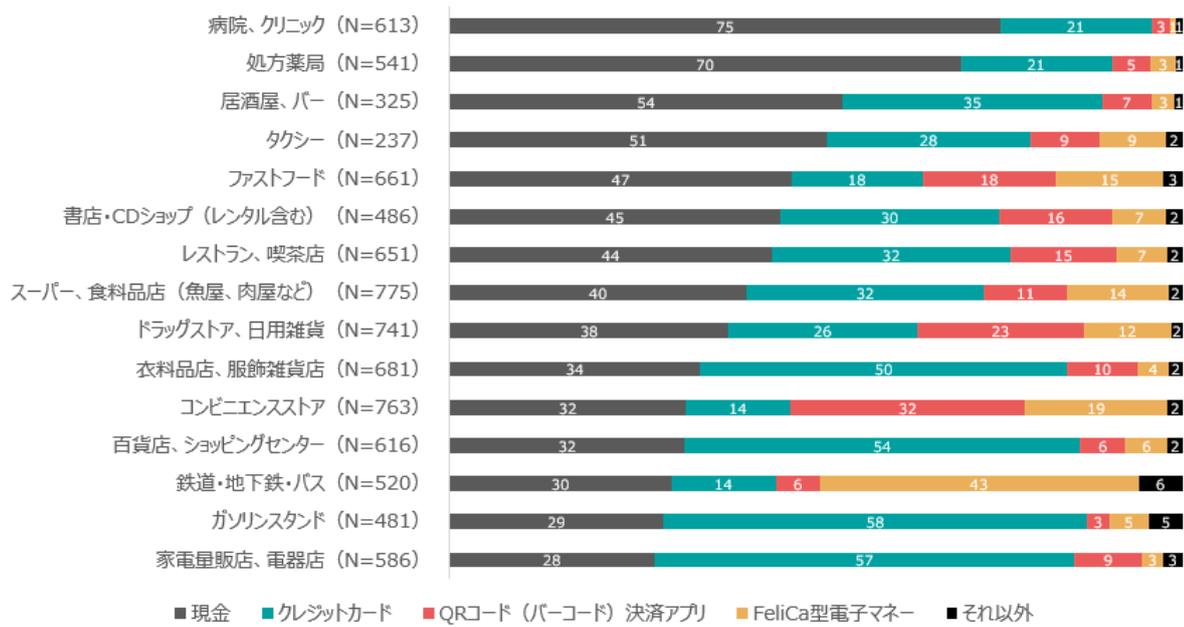
- 「PayPay」(ペイペイ)が37%(前年比8%増加)となり、交通系ICカードの34%(SuicaやPASMOなど)を抜いて2位に躍進
- 国際ブランドカード(クレジット、デビット、プリペイド)は横ばいであるものの、楽天カード、Yahoo! JAPANカード、dカードは利用が増加

<個別キャッシュレスサービス利用率と対前年増減>(複数回答: N=20,000)



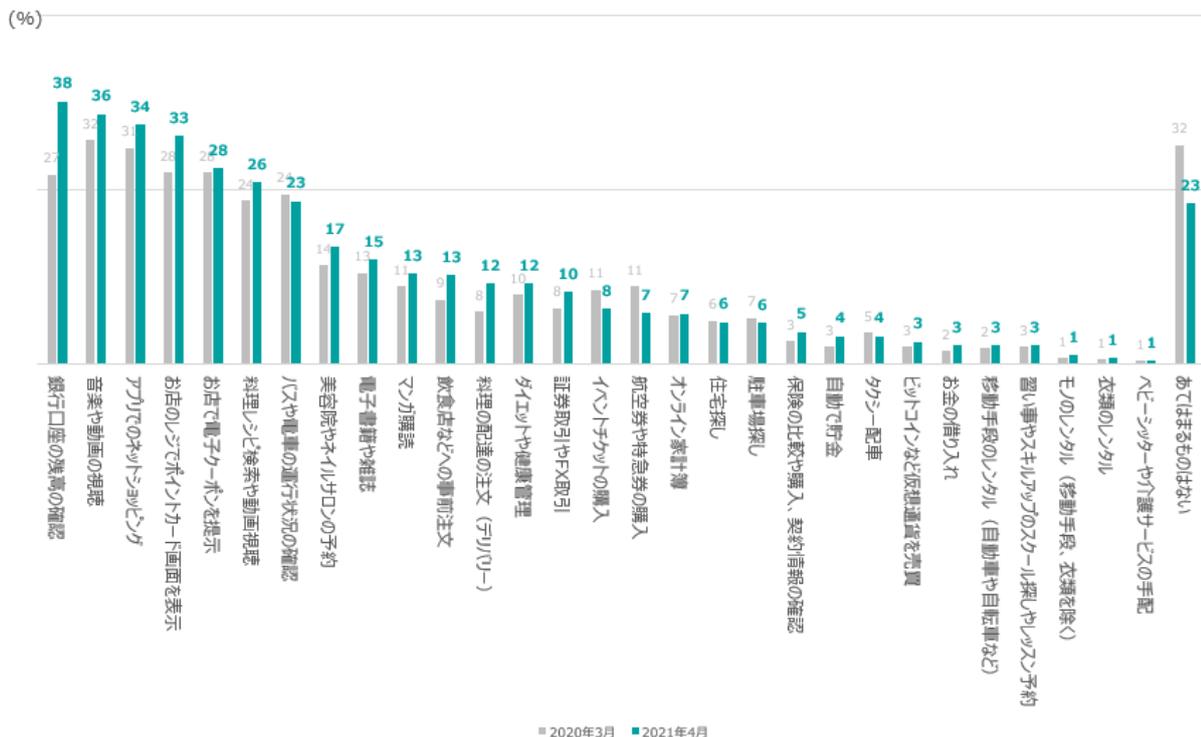
- コンビニエンスストアでの買い物において、QRコード決済の利用率は32%となり、クレジットカード(14%)よりも多く、現金と同じ割合で利用されている
- 病院・クリニック等の医療分野では現金決済が75%と圧倒的に多く、キャッシュレス化の遅れが目立つ

<主要サービスを利用する際の決済手段> (単一回答)



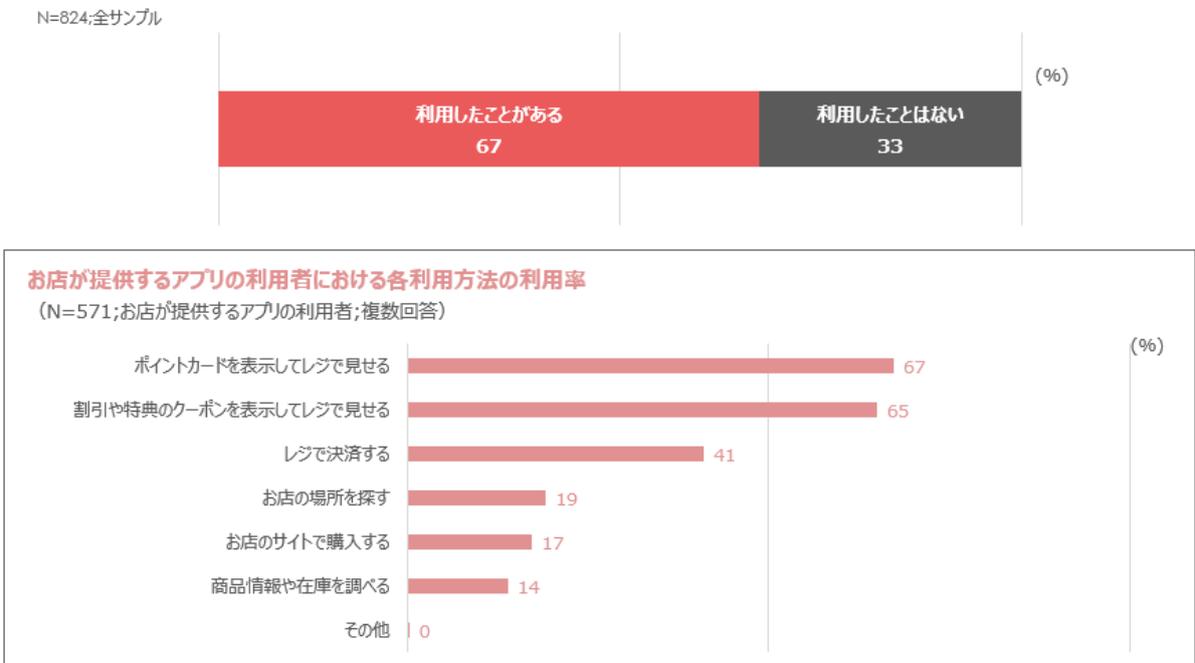
- 生活サービスにおけるアプリ利用は「銀行口座の残高確認」が38% (前年比11%増加) とトップとなり、直近1年間で急拡大
- 「音楽や動画の視聴」36% (前年比4%増加)、「ネットショッピング」34% (前年比3%増加)、「ポイントカード機能の利用」33% (前年比5%増加)が増加する一方、コロナ禍による外出自粛の影響により「イベントチケットの購入」8% (前年比3%減少)や「航空券や特急券の購入」7% (前年比4%減少)と利用が減少

<アプリで利用したことのあるサービス対前年増減>

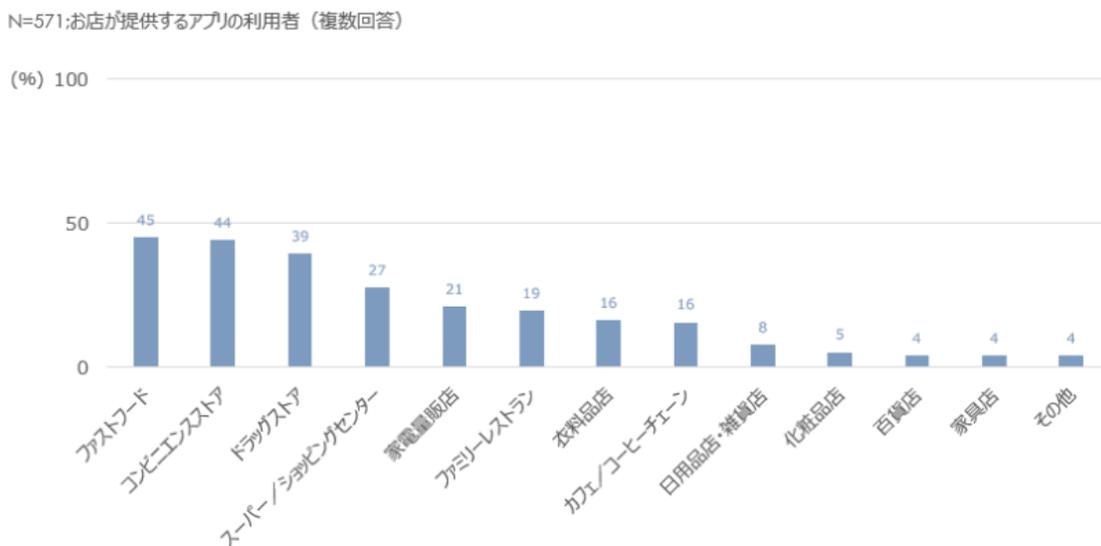


- お店が提供するアプリについては67%が利用経験あり、利用方法は「ポイントカードの表示(67%)」や「割引クーポンの利用(65%)」が上位を占める
- アプリを利用する場所は「ファストフード(45%)」がトップ、次いで「コンビニエンスストア(44%)」、「ドラッグストア(39%)」

<お店が提供するアプリの利用経験と利用方法>



<お店が提供するアプリを使う場所>



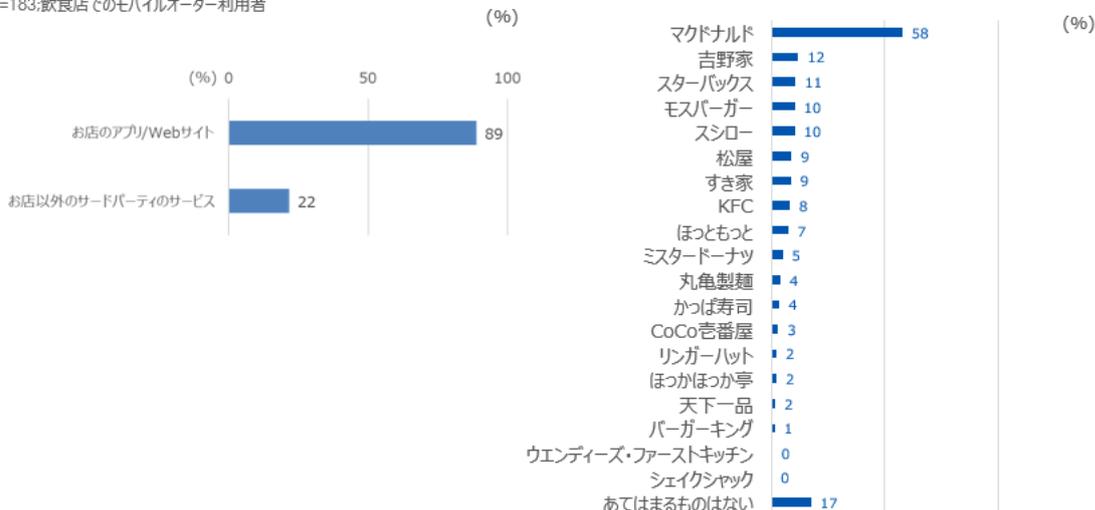
- 飲食店でのモバイルオーダーは20%が利用経験あり
- 飲食店が提供するチャネルからの利用がメインで、マクドナルドでの利用が58%とトップ

<飲食店が提供するモバイルオーダーの利用動向>

N=824:飲食店でのモバイルオーダー利用動向



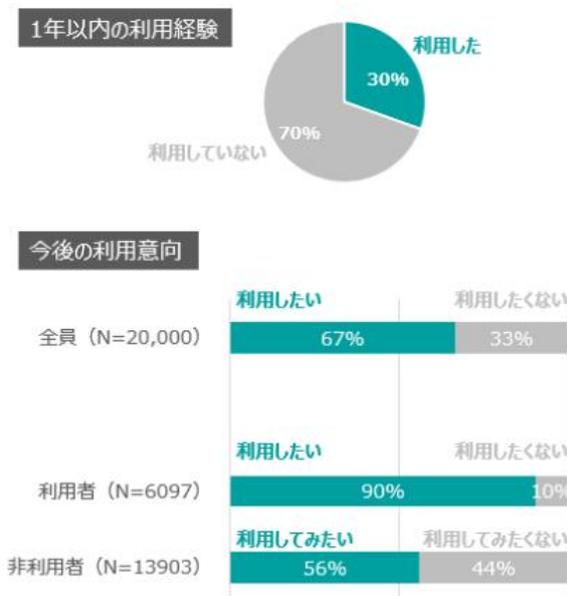
N=183:飲食店でのモバイルオーダー利用者



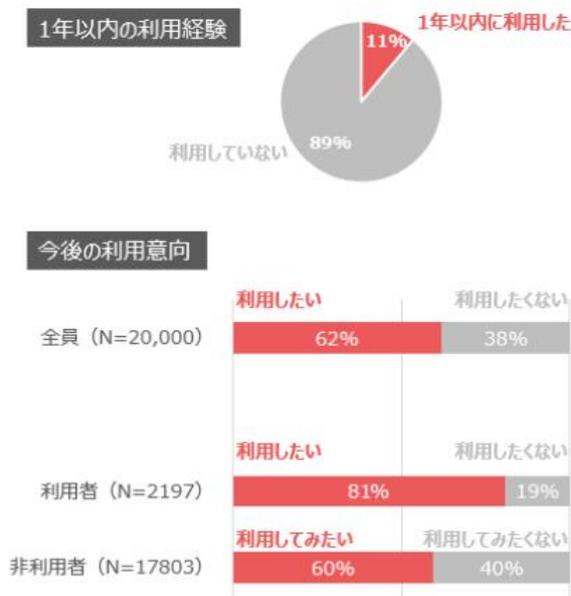
- 自治体が発行する「プレミアム付商品券」は紙での利用が 30%、デジタル版での利用が 11% となった（直近 1 年以内での利用経験）
- 今後の利用意向は紙、デジタルともに 60%以上が利用を希望
- 購入回数は 1 回（38%）、購入金額は「1 万円～2 万円未満」（28%）がともに最多
- 利用者の 60%が購入による行動変化があったと回答し、主な変化として「普段は行かない店舗を利用するようになった（44%）」「地域での買い物が増えた（39%）」が多い
- 「地域の活性化につながる（合計 73%）」「お得に感じる（合計 81%）」など利用者の大半が好意的な評価

<プレミアム付商品券の利用動向>

紙のプレミアム付商品券

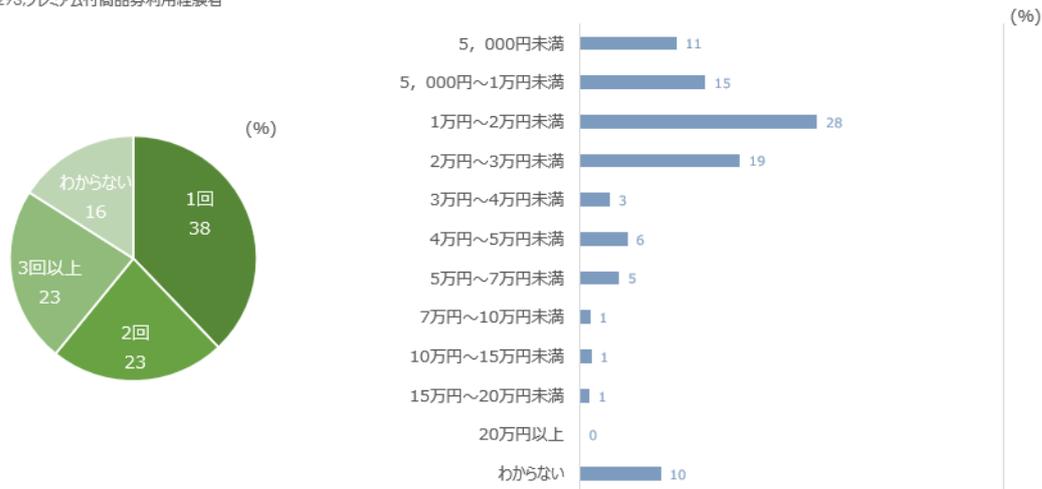


デジタル版のプレミアム付商品券



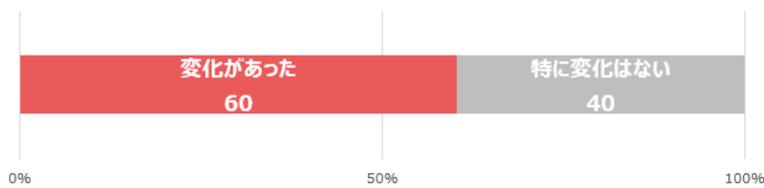
〈プレミアム付商品券の購入回数と直近の購入金額〉

N=293;プレミアム付商品券利用経験者

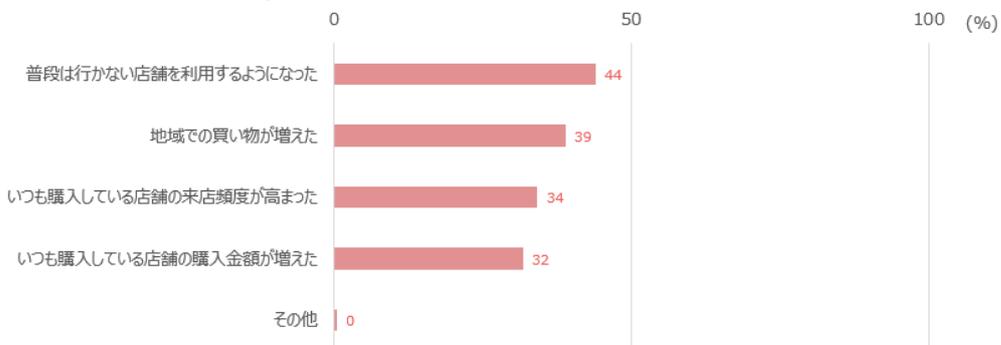


〈プレミアム付商品券購入による行動変化〉

N=293;プレミアム付商品券利用経験者

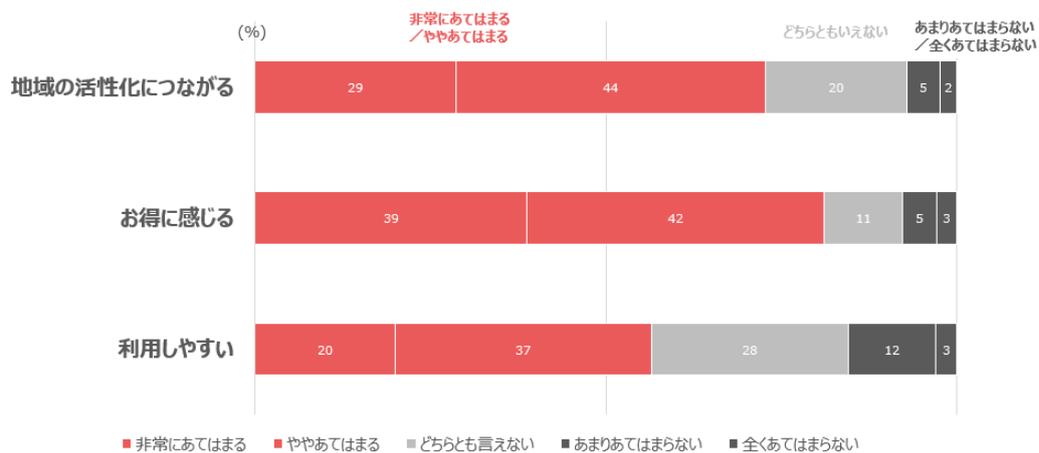


**変化があった177人における
回答結果**



〈プレミアム付商品券利用者の評価〉

N=293;プレミアム付商品券利用経験者



<調査概要>

調査手法：インターネット調査

調査地域：全国

対象者条件：16～69 歳男女

① 全体調査

目的：主要ペイメントカードの保有・利用状況の調査

対象人数：20,000 人

調査期間：2021 年 4 月 19 日(水)～2021 年 4 月 21 日(金)

② 詳細調査

目的：8 セグメント毎の生活行動・金融行動・決済行動の調査

対象人数：824 人

調査期間：2021 年 4 月 22 日(土)～2021 年 4 月 23 日(日)

なお、今回の調査結果詳細を解説するオンラインセミナーを 6 月 29 日(火)に開催します。

インフキュリオンでは 2015 年 3 月より、決済サービス利用状況・買い物行動・金融デジタルチャネル利用について定期調査を実施しており、各種キャッシュレスサービスに関するテーマについて継続的にデータを収集し、分析をしています。調査担当者によるキャッシュレス決済の最新動向をお話します。

<オンラインセミナー開催概要>

- タイトル：「キャッシュレス決済と消費者のデジタルシフトの広がり
～男女 20,000 人対象『決済動向 2021 年 4 月調査』詳細解説～」
- 開催日：2021 年 6 月 29 日(火) 14:00-15:00
- 発表者：森岡剛(株式会社インフキュリオンコンサルティング マネジャー)
- 参加費：無料
- 視聴方法：Zoom
- 動画視聴方法につきましては、お申し込みいただいた方へご案内させていただきます。
- お申込み URL：https://zoom.us/webinar/register/WN_jsKfaRtJTKG23DmzIHDDzw

本リリース・調査に関するお問い合わせ

株式会社インフキュリオン CEO 室 広報

株式会社インフキュリオン コンサルティング 事業企画部 メディア・ラボ室

Tel : 03-6272-3924 Mail : pr@infcurion.com